

資料2

「医学教育カリキュラム検討会」  
(第2回) H21.2.13

# 地域や診療科に必要な医師の養成・確保 に関する基礎資料

## 医学教育カリキュラム検討会(第2回)



平成21年2月13日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 地域医療を担う医師養成の現状

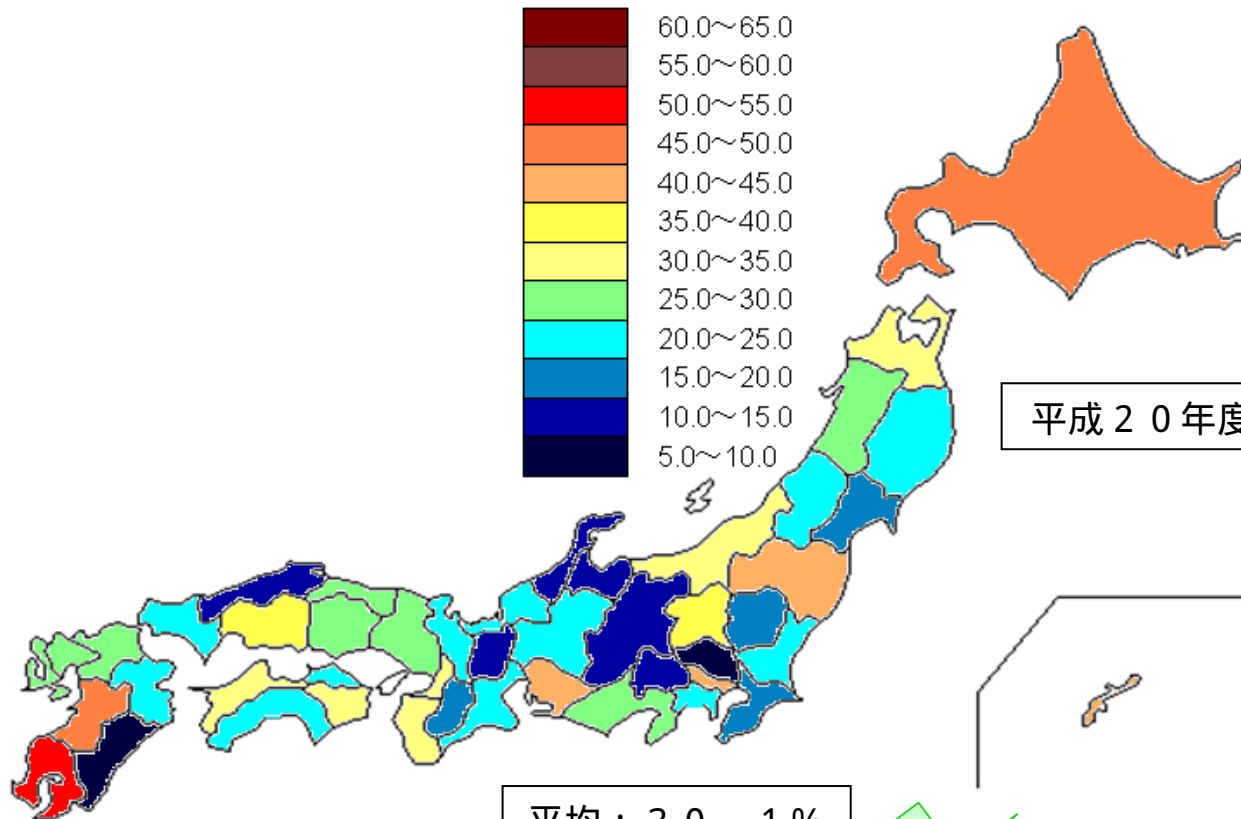


文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

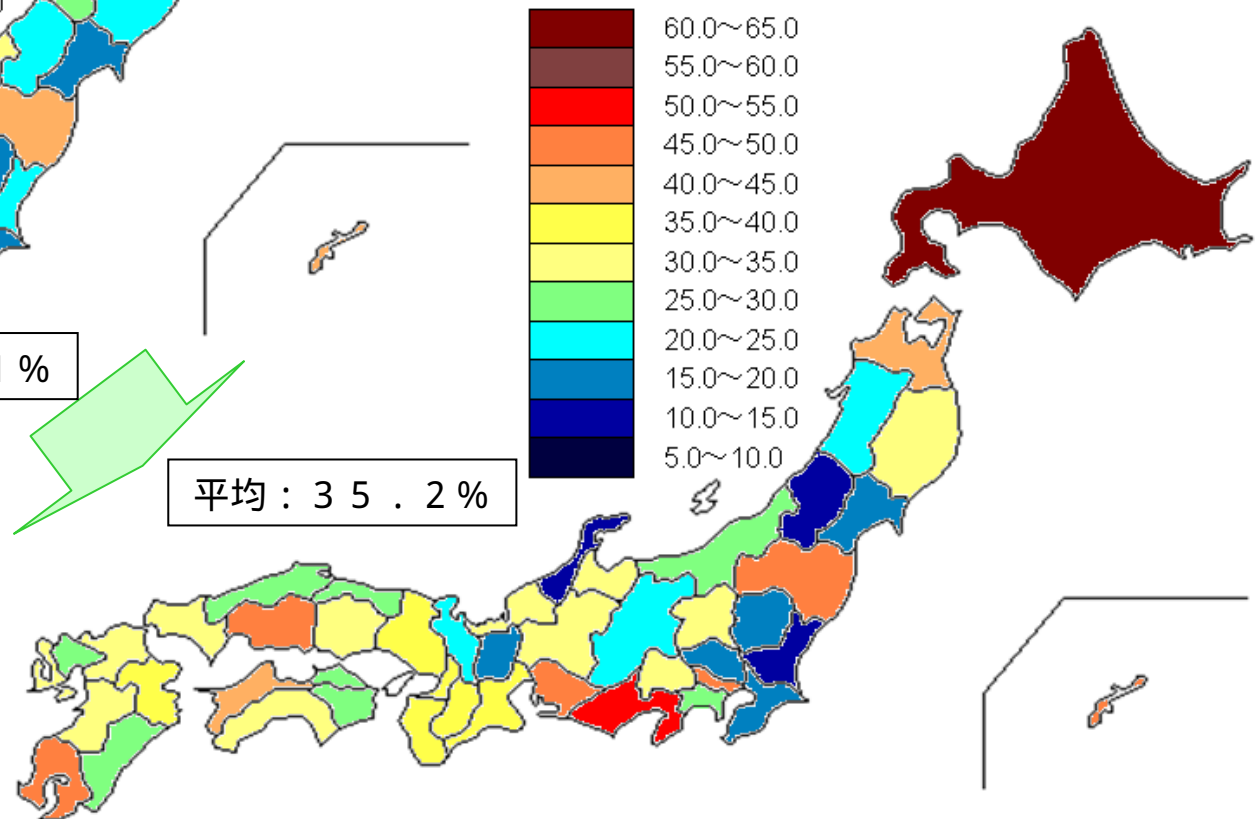
# 県内高校出身の医学部入学者の推移

平成15年度医学部入学者の県内高校出身率



平均：30.1%

平成20年度医学部入学者の県内高校出身率



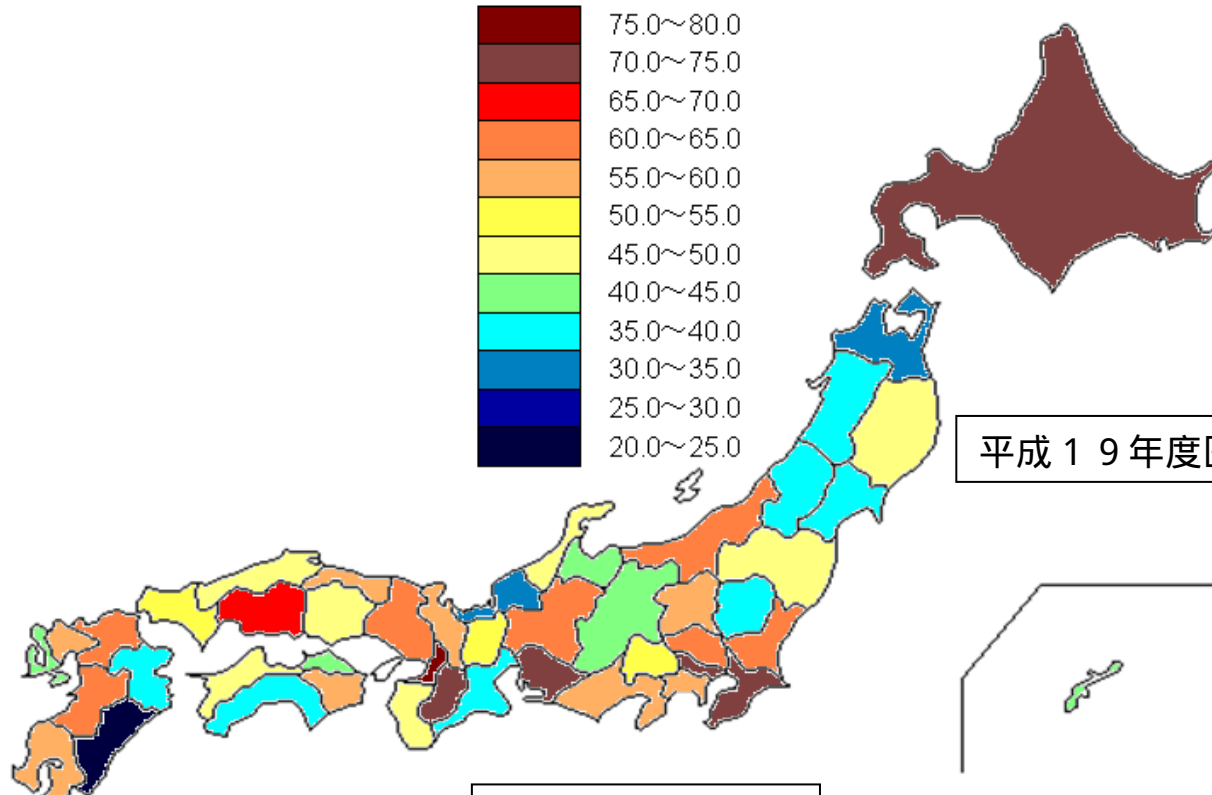
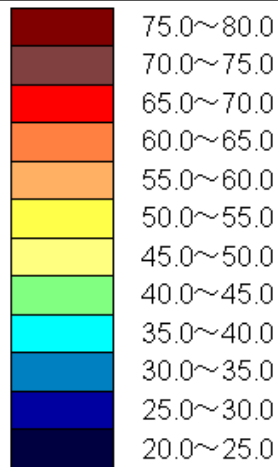
平均：35.2%

医学部入学者の県内出身率は、当該県の18歳人口やその進学状況等により様々であるが、入学者選抜における地域枠の普及等により、この5年間に5%程度上昇。今後の県内定着率の回復への貢献が期待できる。

各都道府県に所在する医学部(医科大学)入学者の合計のうち、当該都道府県の高校出身の入学者の占める割合を記載  
都道府県別に定員を設定する自治医科大学は除く。  
(文部科学省医学教育課調べ(H20.9))

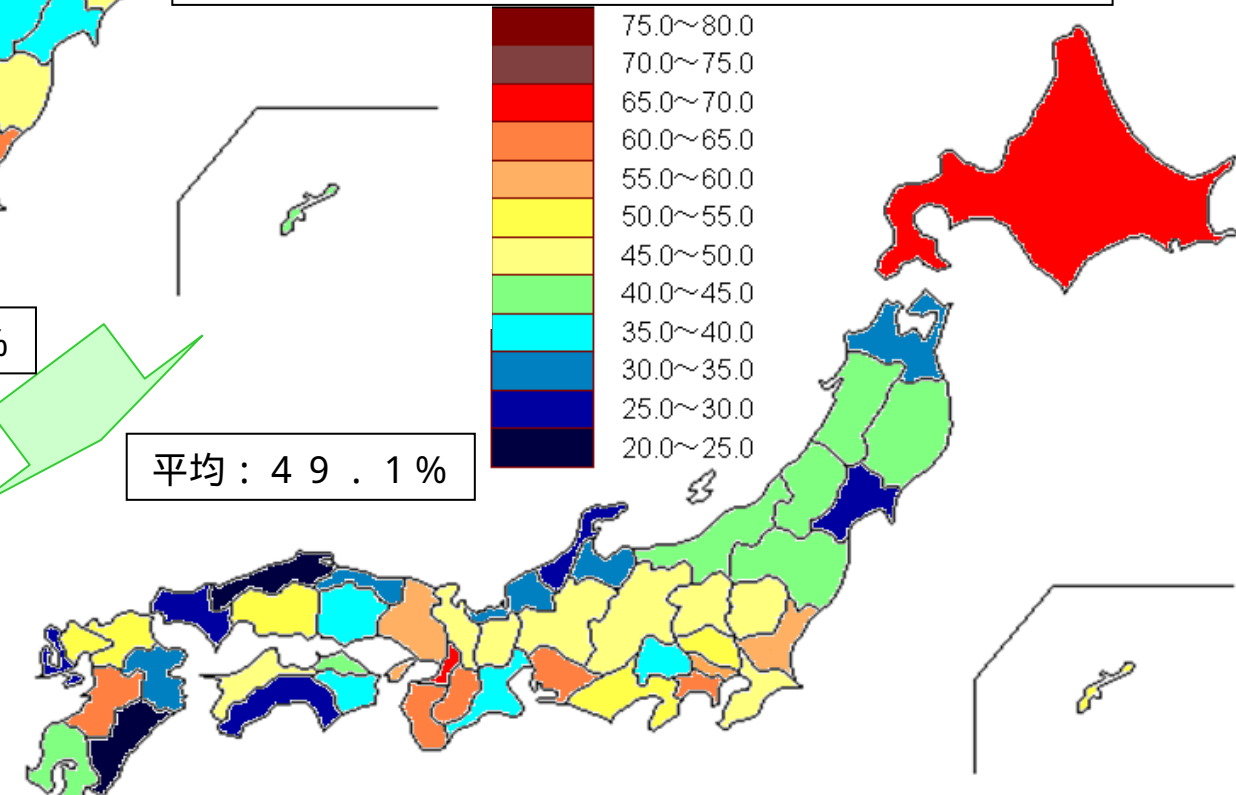
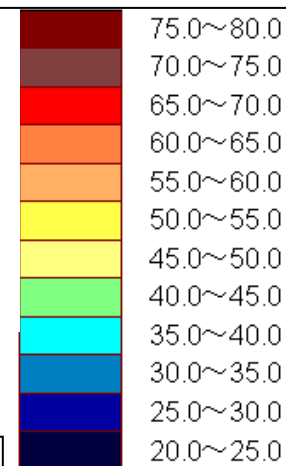
# 医学部卒業者の地域定着の動向

平成14年度医学部卒業者の卒後翌年度の県内定着率



平均：57.8%

平成19年度医学部卒業者の卒後翌年度の県内定着率



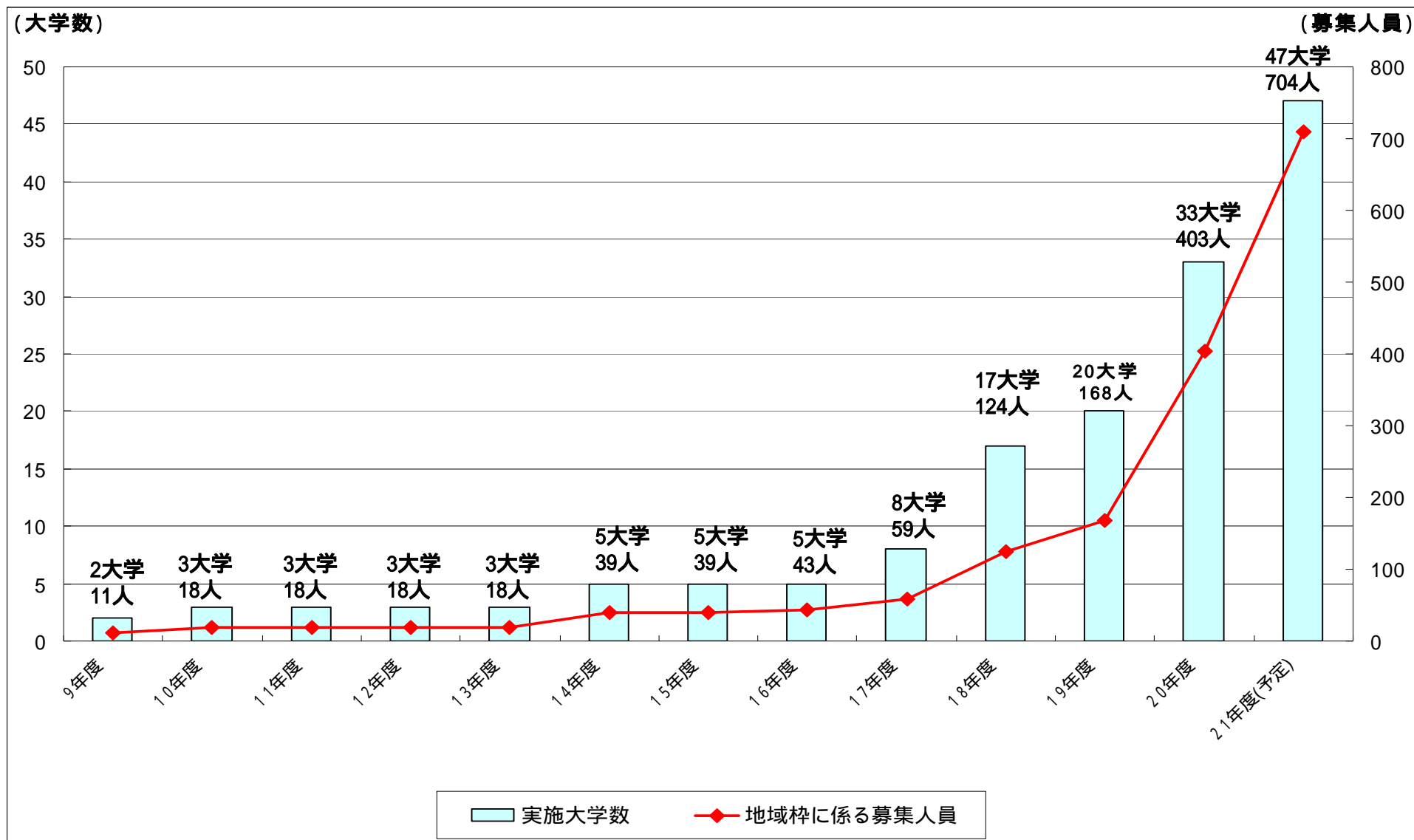
平均：49.1%

各都道府県に所在する医学部(医科大学)卒業者の合計のうち、卒後翌年度に当該都道府県に定着する者の占める割合を記載  
 都道府県別に定員を設定する自治医科大学の他、過去の数値が不明の東京都内2、大阪府内1大学を除く。

(文部科学省医学教育課調べ(H20.9))

# 地域医療を担う医師の養成に関する取組

## 地域を指定した入学者選抜（地域枠）の導入状況



注1) 地域枠には、地元出身者のための地域枠に加え、出身地にとらわれず将来地域医療に従事する意志を有する者を対象とした入学枠を含む。

注2) 地域枠募集人員は、推薦入学枠の他、一般入試において地域枠を設定しているものを含む。

# 入学者選抜における取組

## 一般入試で採用している選抜方法

	国立	公立	私立	合計
面接	37	7	24	68
高校の推薦書	6	1	5	12
小論文	23	3	22	48
その他	18	0	17	35

## A O入試の実施状況

	国立	公立	私立	合計
はい	6	0	2	8
検討中	0	0	0	0
いいえ	37	8	27	72

## 面接試験の対象者

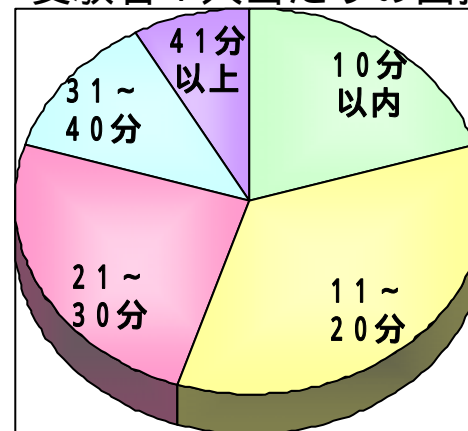
	国立	公立	私立	合計
全受験生	25	5	13	43
推薦入学受験者	9	0	15	24
学士編入学受験者	8	0	4	12
前期試験受験者	12	1	4	17
後期試験受験者	14	1	5	20

平成18年度の実施状況(防衛医科大学を含む80大学対象)

「我が国の大学医学部(医科大学)白書2007(全国医学部長病院長会議)

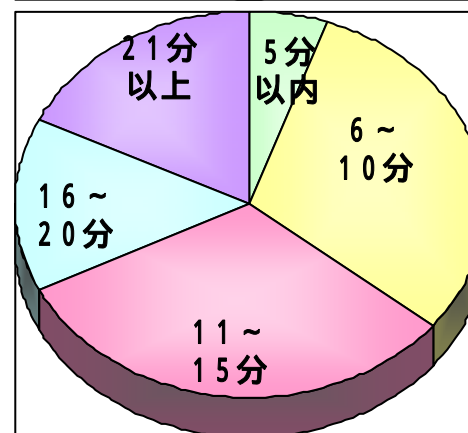
## 受験者1人当たりの面接時間

推薦入試



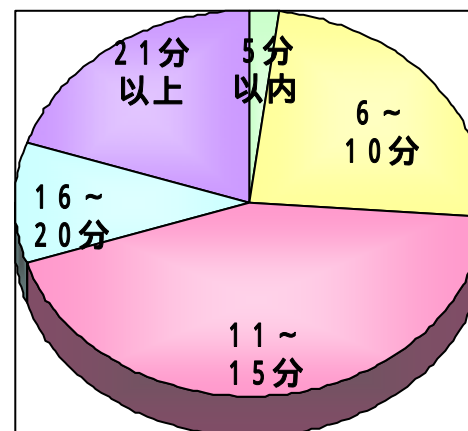
回答のあった  
49大学の内訳

一般入試(前期)



回答のあった  
56大学の内訳

一般入試(後期)



回答のあった  
50大学の内訳

「我が国の大学医学部  
(医科大学)白書(全国  
医学部長病院長会議)

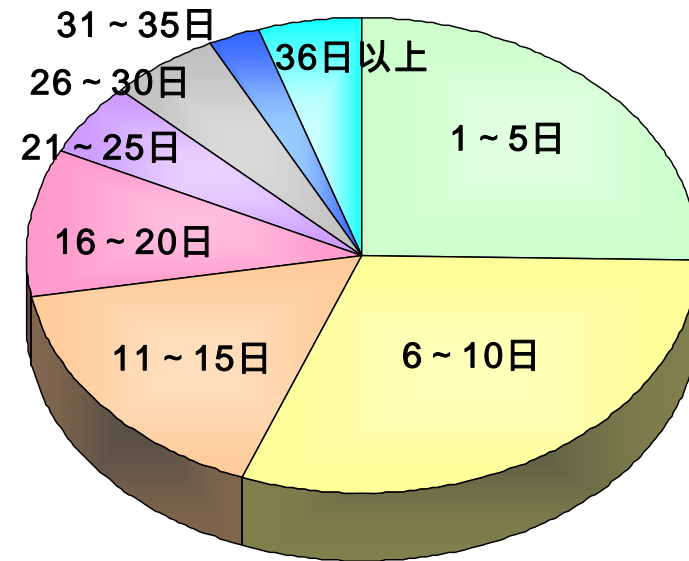
# 臨床前医学教育における取組

## 一般（教養）教育と専門教育の関係

一般(教養)教育 実施学年	専門教育 開始学年	該当大学数
第1学年	第1学年	10
	第2学年	10
第1・2学年	第1学年	27
	第2学年	10
第1・2・3学年以上	第1学年	16
	第2学年	6

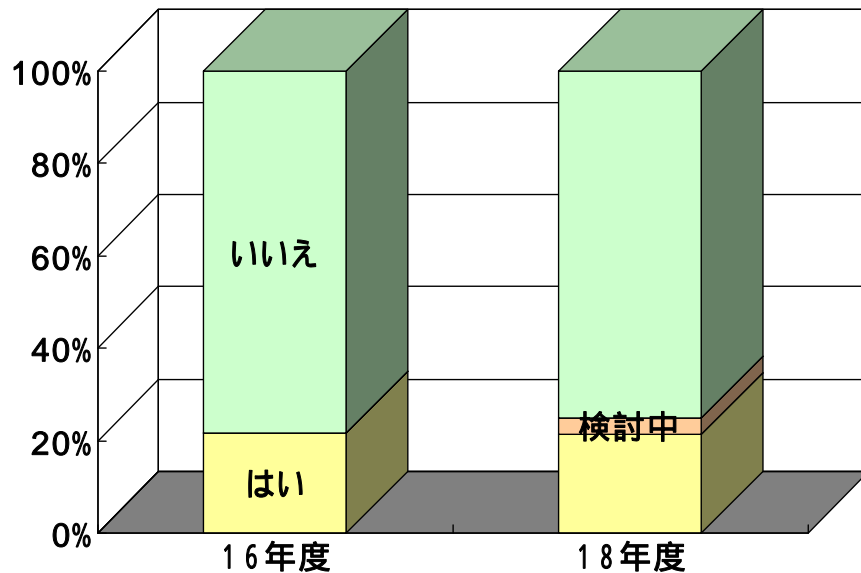
「平成19年度医学教育カリキュラムの現状」(全国医学部長病院長会議)

## 早期臨床体験（Early Exposure）の実施日数



「平成19年度医学教育カリキュラムの現状」(全国医学部長病院長会議)

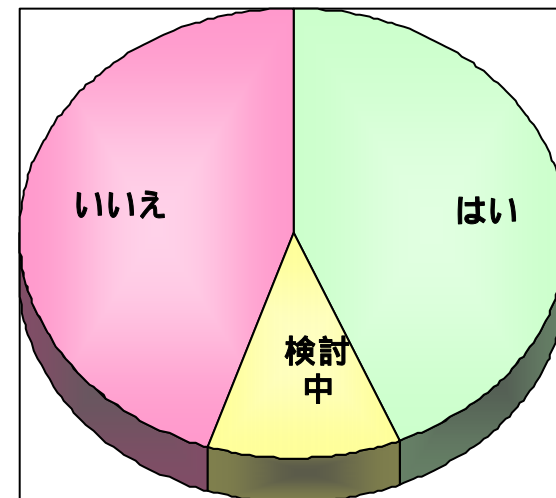
## 早期体験実習先への教員の同伴の有無



回答のあった56大学の内訳

「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)

## モデル・コア・カリキュラムを基にした地域医療教育の導入状況

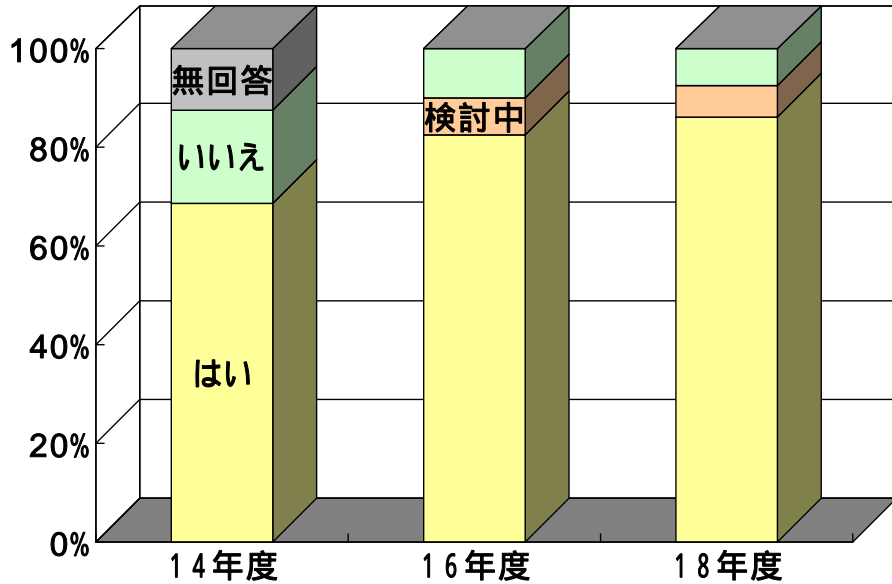


「我が国の大学医学部(医科大学)白書2007(全国医学部長病院長会議)



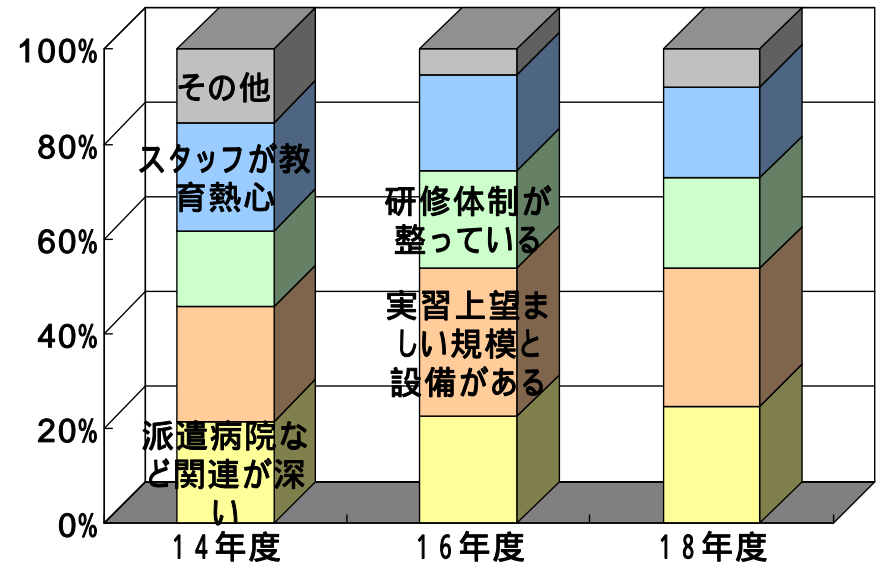
# 臨床実習における取組

## 学外施設での臨床実習の実施状況



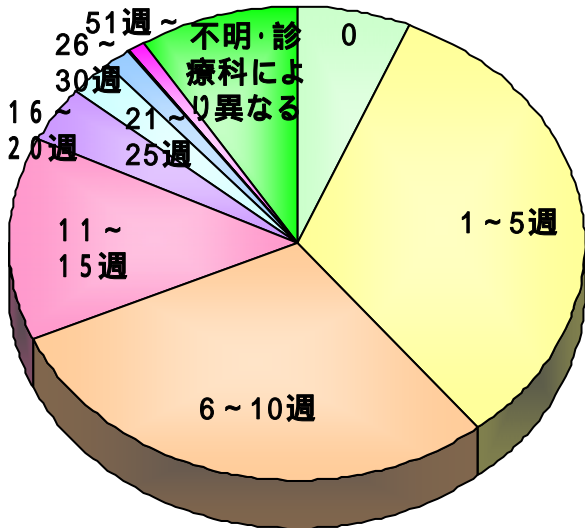
「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

## 学外臨床実習実施病院の選択基準



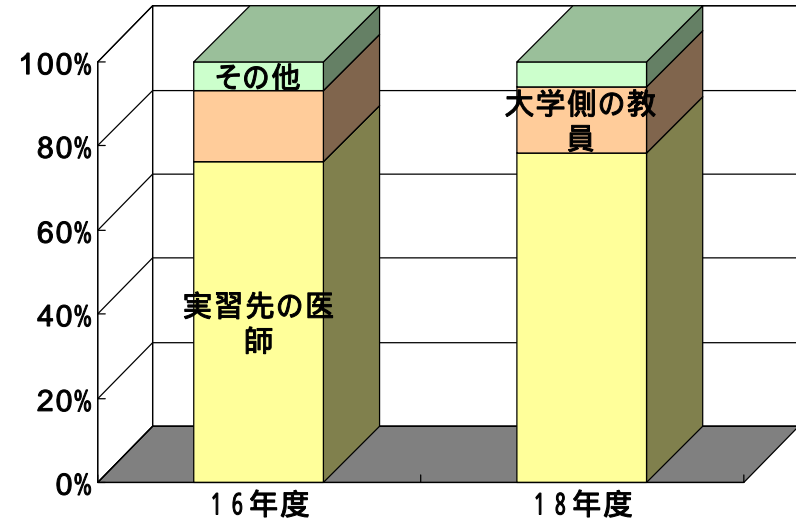
「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

## 学外施設での臨床実習期間



「平成19年度医学教育カリキュラムの現状」(全国医学部長病院長会議)

## 学外施設での臨床実習に関する学生の評価者

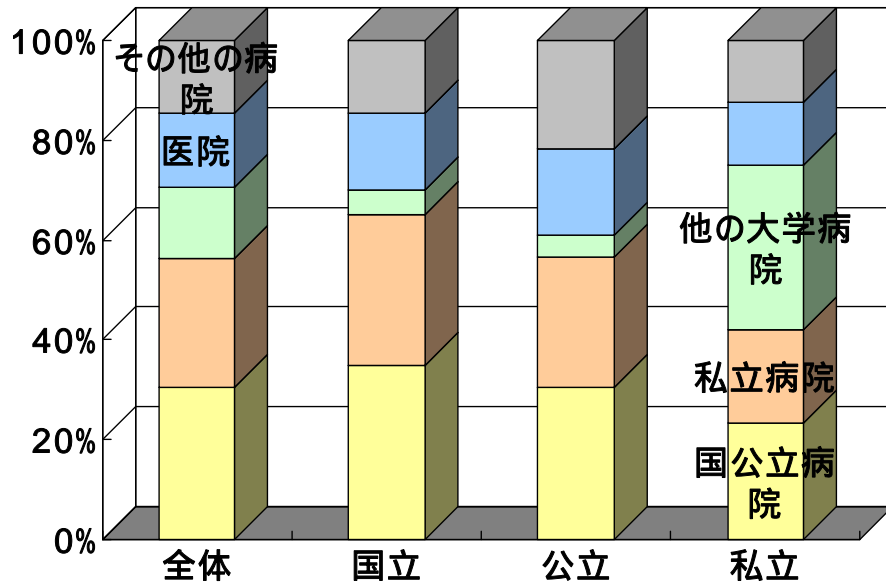


回答のあった69大学の内訳

「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

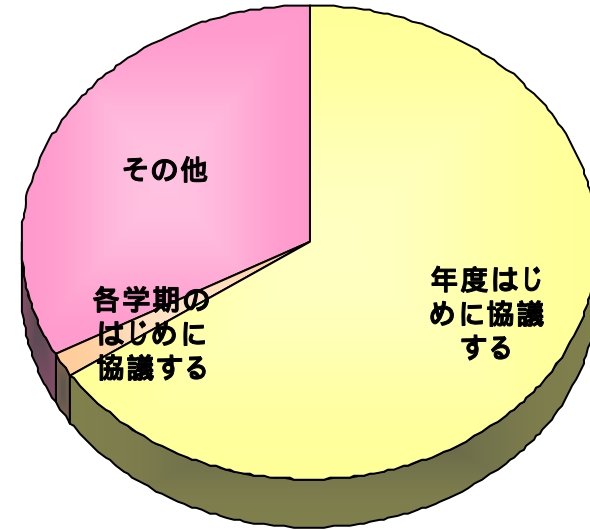
# 地域医療教育に関する体制

## 臨床実習病院の種類

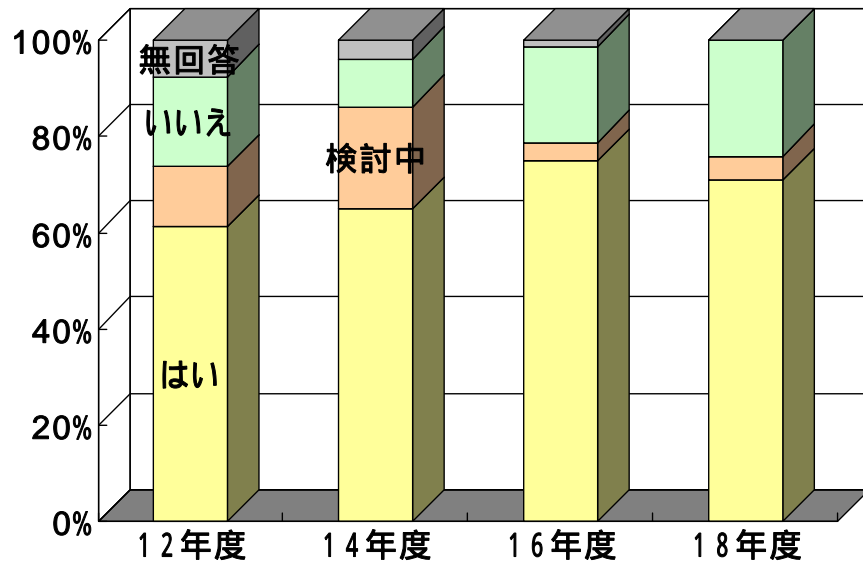


「我が国の大学医学部(医科大学)白書2007(全国医学部長病院長会議)」

## 臨床実習病院と実習内容に関する協議の状況

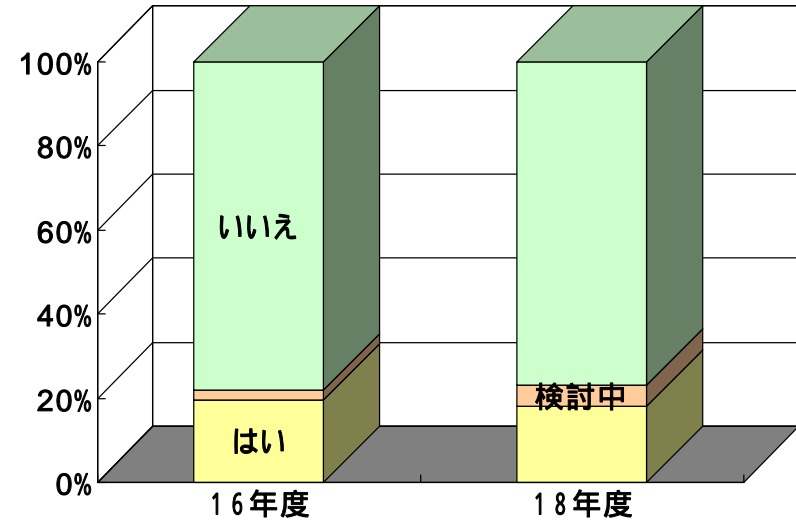


## 臨床教授制の導入状況



「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

## 地域医療に特化した講座・診療科の設置状況



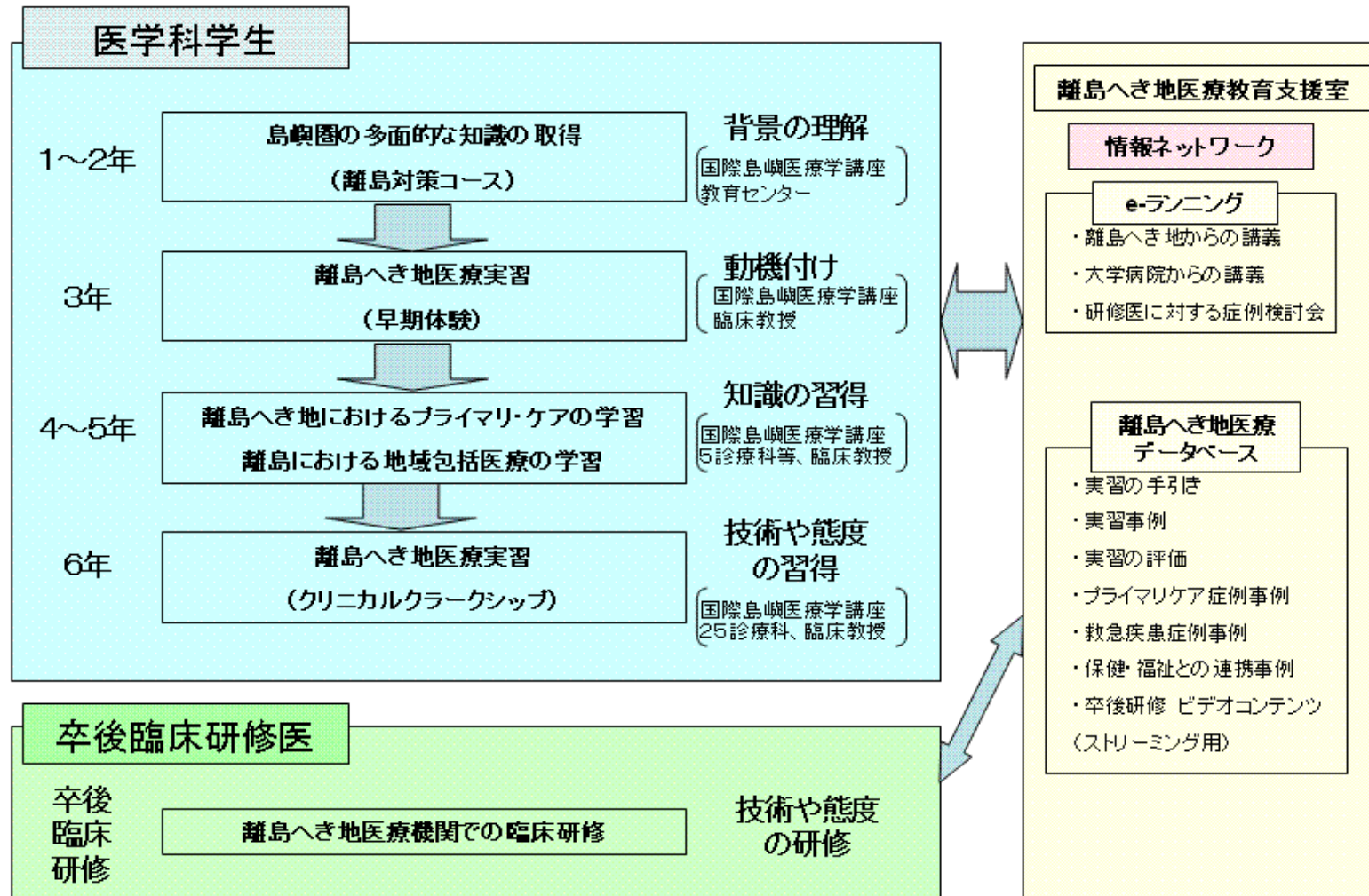
「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

# 地域医療機関と連携した臨床教育の取組例

鹿児島大学「離島へき地医療を志す医師教育支援プログラム」（医療人GP選定(H17-19)）

大学が離島へき地医療機関と連携し、卒前及び卒後を通して学習習熟度に応じた段階的・継続的な学習・研修体制整備。離島へき地の病院や診療所を結ぶネットワークと支援データベースを整備し、大学病院の専門医等のサポートチームにより教育支援

「離島へき地医療を志す医師教育支援」プログラム概念図

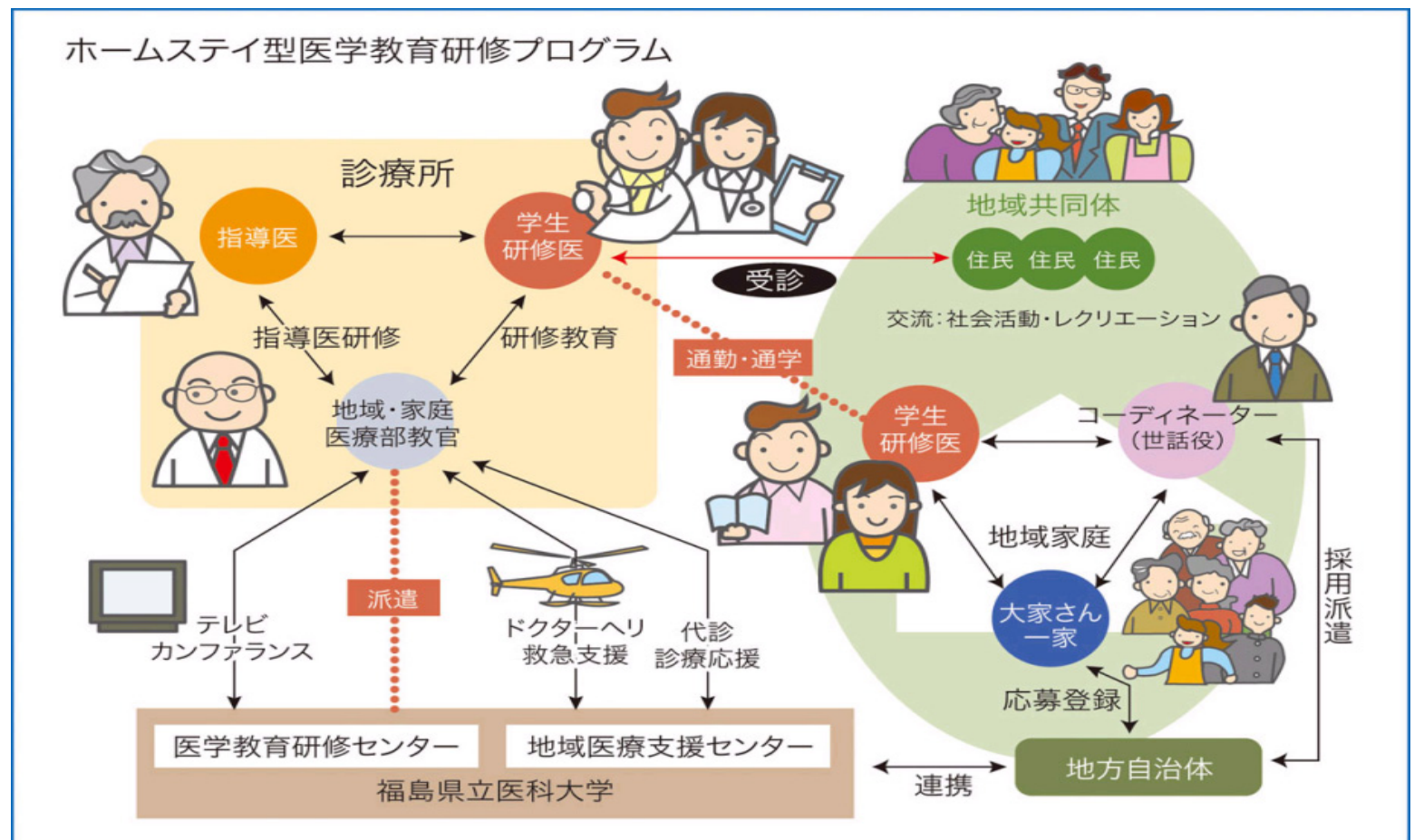


# 地域医療機関と連携した臨床教育の取組例

福島県立医科大学「ホームステイ型医学教育研修プログラム」(医療人GP選定(H17-19))

医学部6年生及び研修医が地域住民家庭でのホームステイをしながら研修を実施することにより、地域に暮らす医療人としての役割と生活に関する深い理解を獲得し、「居住体験」に魅力を感じる機会を提供することを狙いとする。

へき地医療研修を大学病院機能により全面的に支援するため、地域・家庭指導部教官による現地指導や、テレビ会議システムによる遠隔教育を実施する。



# 平成21年度医学部入学定員増に関する各大学の取組例

## 県全体の地域医療機関との連携協力を通じた地域医療教育・支援

新潟大学 平成21年度入学定員120名（5名増）

- 県内全管理型臨床研修病院と「良医育成新潟県コンソーシアム」を構築するとともに、学内に、学部教育から臨床研修・専門医研修の一貫した地域医療教育・支援を担う「地域医療教育センター」を設置し、大学と連携した県全体で地域医療を担う医師の養成と定着を目指す。
- 中越地震を教訓とした「赤ひげチーム医療人育成」と題した地域医療体験プログラムを全医学生対象に拡大し実施する。

## 学部教育から専門医研修までの一貫したプログラムにより、小児科、産科等の医師養成

山形大学 平成21年度入学定員120名（5名増）

- 診療科選択を開始する学部4年生を対象とし、医師不足が深刻な産科、小児科、救急、外科を対象とした専修コースを新設し、大学とともに地域病院で学部教育、臨床研修、専門医研修までを一貫した教育を行い、これらの診療科の地域医療を担う医師養成を目指す。

## 地域住民との触れ合いを重視した地域医療を担う医師養成

福島県立医科大学 平成21年度入学定員100名（5名増）

- ホームステイなど地域住民との触れ合いを重視した地域医療教育の充実や、学部教育から卒後研修まで、一貫した教育を推進する「医療人育成・支援センター」の設置等を通じ、プライマリーケア、地域医療への深い理解をもった医師の養成と定着を目指す。

## 医師不足地域の附属病院を核に地域の実情に応じた医師養成

順天堂大学 平成21年度入学定員110名（15名増）

- 附属病院を開設する東京都、埼玉県、千葉県、静岡県の医師確保のための地域枠を創設し、当該自治体との協力によって各地域の実情に根ざした地域医療実習プログラムを実施するとともに、地域医療を志望する医師のキャリア支援を通して地域医療を担う医師の養成と定着を目指す。

## 農山村地域の教育研究拠点における重点的な地域医療教育

愛媛大学 平成21年度入学定員105名（5名増）

- 大学と農山村地域に設置する地域サテライトセンターを教育研究拠点に、学部各学年での実習、卒後研修、生涯教育を実践することによって、地域医療重視の医師養成と、医師不足が深刻な地域の医師定着・地域医療の向上を目指す。